

ハウレンソウ品種「ミストラル」

岩手県のハウレンソウは、剣葉系品種の雨よけ栽培により高い市場評価を得ている。栽培上の一つのポイントとして、播種期に応じた品種の使い分けが必要である。「ミストラル」は、秋まき作型で栽培すると、従来品種に比較し品質的に優れ、収量の増加も期待できる。



写真1 「ミストラル」

来歴は、「西洋系」と「東洋系」の交配によるF1品種である。特性として葉形は剣葉系でべト病レ・ス1・3・4に対して抵抗性をもつ。

表1 収穫時の生育状況

播種日	品種名	調整重 (g)	葉身長 (cm)	葉身幅 (cm)	収量 (kg/a)	葉色 (SPAD)	生育日数 (日)
8.19	ミストラル	14.5	13.2	8.2	151	35.3	27
	アトランタ	14.0	13.3	7.2	146	32.6	27
9.13	ミストラル	18.0	13.1	8.9	187	43.8	42
	アトランタ	15.9	12.4	7.2	166	36.6	42
9.25	ミストラル	17.4	12.0	7.8	181	45.0	53
	アトランタ	14.2	11.5	6.5	147	38.0	45

従来の推奨品種に比較し、葉身長が長く、葉幅が広く、株張りが良好で、葉色が濃く、品質的に優れている。また、1株重が重く収量の増加が期待できる。

表2 7月播き作型における「ミストラル」の抽苔状況

播種日	抽苔株発生程度(%)			
	小	中	大	発生程度
H8.7.17	10	45	0	33.3
H9.7.15	10	25	10	33.4
H10.7.15	20	50	10	50.0

「ミストラル」は、高温長日条件下の栽培では抽苔しやすく、また、低温伸長性がやや劣ることから、8月中旬～9月中旬播種する作型での利用に適する。